

## ロシア連邦 (*RUSSIAN FEDERATION*)

Q 1 . 民族の共生に向けての対応として正しいものは？

- ① 民族の祭りをやめる
- ② 多民族・多文化社会を学ぶための学校の創設
- ③ それぞれの民族のゆかりの地を統一する

Q 2 . ロシア正教で、祈りの対象となる神や天使が描かれている絵のことを何というか？

- ① イコン
- ② コーラン
- ③ 踏み絵

Q 3 . ロシアの街中に住む人々が郊外にもつ別荘のことを何というか？

- ① イグルー
- ② オンドル
- ③ ダーチャ

Q 4 . ロシア経済の問題点として正しいものは？

- ① 資源輸出への依存度が低いこと
- ② 社会サービス整備が充実していること
- ③ 市場経済化による格差拡大

Q 5 . ロシア経済の現状として正しいものは？

- ① ロシアの GDP（国内総生産）は、2003 年以降の 5 年間で 7.3% の年平均成長率を達成した
- ② アメリカの金融危機の影響を受けず、株価や GDP（国内総生産）は上昇している
- ③ 好景気の影響で失業率も減少し、2008 年以降も減少し続けている

Q 6 . 新興国として注目されている「BRICs」の組み合わせとして正しいものは？

- ① バングラデシュ、ロシア、インドネシア、カンボジア
- ② ブラジル、ロシア、インド、中国
- ③ ブルガリア、ロシア、イタリア、チェコ

Q 7 . ソ連解体に伴って独立した旧構成国との間の問題とは？

- ① チェチェン共和国はロシアからの分離独立を望んだが、ロシアはこれを拒絶し、武力衝突が起きた
- ② ロシアはグルジアに供給するガスの値上げを通告したが、グルジアが応じなかったため、パイプラインでの供給をストップした
- ③ NATO（北大西洋条約機構）への加盟をめぐり、2008 年 8 月、北京オリンピックの最中にウクライナとの間で軍事衝突が起きた

年 組 番 氏名

---

Q 1 . 民族の共生に向けての対応として正しいものは？

多民族・多文化社会を学ぶための学校の創設

ポイント：最近では、学校などを中心に民族アイデンティティを高める政策が行なわれはじめました。多文化・多民族社会を学ぶために創設された学校（シュコーラ）では 30 以上の民族の子どもたちが共に学んでいきます。授業ではロシア語が使われるため、ロシア語修得のプロジェクトが組まれています。また、さまざまな民族の祭りを一緒に楽しんだり、それぞれの民族のゆかりの地を訪れることで理解と交流を深めていくことも行なわれています。

Q 2 . ロシア正教で、祈りの対象となる神や天使が描かれている絵のことを何というか？

イコン

ポイント：キリスト教の一派であるロシア正教は、ロシアで最も多くの人信仰する宗教です。日本には江戸時代に伝来し、明治以降広がっていきました。日本最初のイコン画家である山下りんは、それまでの平面的な画法のイコンに立体的な要素を入れ、独自のイコンを描いたことで有名です。

「コーラン」は、イスラーム教の聖典のこと、「踏み絵」は江戸時代に、キリシタンではない証拠として踏ませた、キリストなどの姿を彫った板のことです。

Q 3 . ロシアの街中に住む人々が郊外にもつ別荘のことを何というか？

ダーチャ

ポイント：ロシアでは街に住むほとんどの人が郊外にダーチャを持っており、週末になるとダーチャでの畑仕事や庭でのバーベキューなどを楽しまします。

「イグルー」は、イヌイットなどの冬の家で、氷や雪で作られた半地下式の家屋のことです。ちなみに、イヌイットの夏の家で、トナカイやアザラシの皮を外皮としたテント式の家屋のことを「ツピク」といいます。また、「オンドル」は、朝鮮半島によくみられる、床下に煙道を配した暖房設備のことです。

Q 4 . ロシア経済の問題点として正しいものは？

市場経済化による格差拡大

ポイント：ロシアの所得格差は、1992 年の約 8 倍から 2006 年には約 15 倍にまで拡大してきています。また、資源輸出への依存度が高いことは、資源の価格の面や埋蔵量の面から心配なことであり、付加価値のある製造業やハイテク産業の割合を高めていく必要性が指摘されています。社会サービスに

については整備が遅れており、先進国であるにもかかわらず、医療サービスの遅れなどにより、平均寿命がここ数年は短縮傾向にあります。

Q 5 . ロシア経済の現状として正しいものは？

- ① ロシアの GDP（国内総生産）は、2003 年以降の 5 年間で 7.3% の年平均成長率を達成した

ポイント：ロシアは石油・天然ガスといった豊富な天然資源の産出を背景に、2000 年以降、経済が急激に成長してきました。しかし、2008 年のアメリカでの金融危機の影響を受け、経済は低迷し始めています。株価指数の下落、GDP も減少するなど深刻な状況です。また、これに伴い、失業率も増加傾向にあります。「BRICs」の一員としても、今後の動向に注目されるどころです。

Q 6 . 新興国として注目されている「BRICs」の組み合わせとして正しいものは？

ブラジル、ロシア、インド、中国

ポイント：ブラジルは世界最大の鉄鉱石産出国であり、産出された鉄鉱石は主に中国や日本へ輸出されています。また、自国での鉄鋼生産も盛んで、工業化による経済成長が著しくなっています。ロシアは石油と天然ガスの生産が国の経済を支えています。インドはコンピュータ関連企業の成長のほか、日本円で 20 数万円で購入できる小型車の開発など、工業が発展している様子が見えます。中国は安価な労働力市場を背景に、世界各国から企業進出が相次ぎ、2003～2007 にかけて GDP（国内総生産）が年率 10% を超えました。このように、かつては発展途上国とされていた国の中でも、成長が著しい 4 か国の頭文字をとって「BRICs」と呼ぶようになりました。

Q 7 . ソ連解体に伴って独立した旧構成国との間の問題とは？

チェチェン共和国はロシアからの分離独立を望んだが、ロシアはこれを拒絶し、武力衝突が起きた

ポイント：チェチェン共和国とウクライナの問題は、いずれも石油や天然ガスといった地下資源との絡みが根底にあります。石油や天然ガスは国の経済を左右するので、利権をめぐる争いが続くことが予想されます。グルジアはロシアからの圧力（ビザ制度の導入、ワインの輸入の禁止など）に反発する形で紛争が起きました。今後はこれらの国々とのような関係を構築していくのがロシアの課題となっています。